

資料2 「福岡県の空港の将来構想」(骨子案)について

福岡県の空港の将来構想(骨子案) ～福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完～

○福岡県の産業戦略

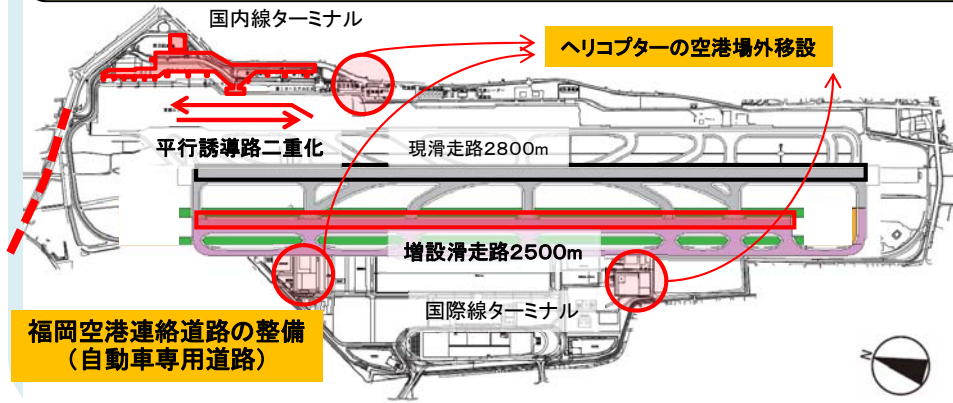
- ・成長著しい自動車、先端半導体、ロボットなどの先端成長産業の更なる振興
- ・中小企業の新商品開発・販路拡大・海外展開の支援
- ・今後世界的に大幅な需要の伸びが見込まれるMRJを始めとする航空機産業等の企業誘致
- ・農林水産物の県外・国外への販路拡大のためのブランド化の推進
- ・観光産業の振興(国の観光戦略:2020年目標2,000万人、九州の観光戦略:2023年目標440万人)



福岡空港

国内外の多彩なネットワークを活用した国際展開により、九州、西日本、アジアの拠点空港として発展

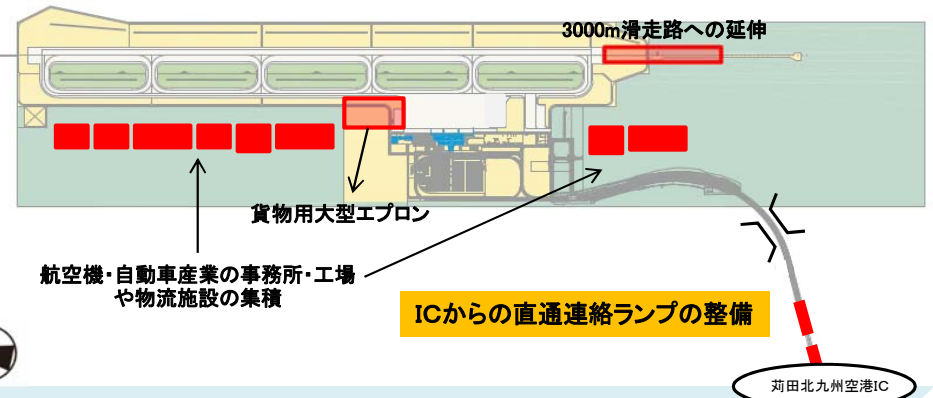
- ・未就航のアジアの各都市、北米、オーストラリア路線などの戦略的な路線誘致
- ・限られた発着枠を未就航の国際路線等へ優先配分することを国に要請
- ・発着枠を超える就航希望航空会社(特にLCC)を北九州空港に誘導
- ・滑走路処理容量確保のため、平行誘導路二重化の早期完成及び滑走路増設事業の早期着手・完成
- ・ヘリコプターの空港場外移設を目指す
- ・利用者の利便性向上を図る旅客ターミナルビルの再整備
- ・自動車専用道路による空港ターミナルへの交通アクセス強化を目指す



北九州空港

企業・住民ニーズの高い路線展開、福岡空港で対応できない早朝・深夜便の誘致、貨物拠点空港として発展

- ・北九州地域の企業進出が多い中国、台湾、東南アジア諸国や自動車、航空機産業の拠点である中部地域(中部、小牧)を結ぶビジネス路線、住民ニーズの強い新千歳、那覇を結ぶ観光路線誘致
- ・MRJの試験飛行、駐機の拠点化の実現と航空機産業の誘致
- ・LCC、貨物専用便の誘致強化
- ・貨物拠点化に向けた貨物用大型エプロンの整備や滑走路の3,000mへの延伸を国に要請
- ・福岡都市圏とのアクセスの改善
- ・苅田北九州空港ICからの直通連絡ランプの整備を目指す
- ・需要動向・採算性を踏まえ小倉⇄空港間の軌道系アクセスを検討



相互補完

航空会社による両空港間での航空券を変更可能にする
マルチエアポート化の推進

今後とも増大し多様化する航空需要に幅広く応え、ゲートウェイとしての利便性を高めることによって、福岡県、九州全体の発展に寄与

新空港の調査研究

両空港の機能強化を図ったうえで、今後の空港利用状況を見ながら国とともに新空港の調査研究を行っていく必要がある。